

平成 26 年度御前崎地区官民合同水難救助訓練

日時 平成 26 年 6 月 25 日

場所 御前崎マリンパーク

スマイルプロジェクト参加者 石原・植田・松井・奥柿・馬場・落合・藪田・野口・増田・小野田
高塚・蓬台・大西・望月・市川・下村



6 月 25 日 御前崎市関係機関が連携した、「官民合同水難救助訓練」がマリンパーク沖合で行われました。

本訓練は、昨年牧之原市で行われた合同訓練を今年は、私達「静岡地区水難救済会御前崎渚の交番救済会」が主催させていただきました。

夏季のマリンレジャーシーズンを控え、各種水難事故を想定して、海上保安庁、警察、消防の各救助機関に協力を依頼し、民間救助団体の皆様と連携強化を図る目的で実施しました。

昨年の経験も活かし、3 月から打ち合わせを開始し、我々が実際に行うかもしれない、対応に備えさせていただきました。

本訓練は、今までの訓練とは違い、御観覧席を用意し来賓の方々にお越しいただき、御前崎保安署管内では初の訓練視察会を開きました。



実際に起こりうるシチュエーションを想定し、そこにナレーション（御前崎市キャンペーンレディー）を加え、実際の訓練状況を見て頂き、説明（石原理事長）する初の試みも行いました。来賓の一覧は以下のとおりです。



来賓して下さった方々

市議会議員 西島昌和、市議会副議長 曾根正浩、市議会議員 柳澤重夫、市議会議員 後藤憲志、
市議会議員 増田雅伸、市議会議員 大澤満、市議会議員 松下久巳、市議会議員 齋藤洋、
市議会議員 阿形昭、市教育委員会 社会教育課課長補佐 山田利春 市商工観光課 櫻井純二
御前崎市防災監 松林清 市防災課 主任 栗林正和
掛川市商工観光課 高野留美・伊藤典生
国土交通省中部地方整備局 清水港湾事務所 御前崎港事務所 所長 若林 俊彦
鈴与株式会社御前崎支店 取締役御前崎支店長 江川央生
御前崎港運株式会社 管理部課長 増田浩治
NPO法人 静岡県ダイバーズ協議会 事務局長 我妻亨
菊川警察署 署長 源波貢
御前崎市消防署 署長 松井義明
御前崎海上保安署 署長 小須田進
国会議員 井林辰憲

訓練内容

<場所>

静岡県御前崎港「マリパーク御前崎」

<訓練参加機関 及び 参加協力>

海上保安長

- ・横浜海上保安部 「巡視船しきしま」 / 「巡視船しきしまヘリコプター」
- ・御前崎海上保安署 「巡視船ふじ」

静岡県警察本部 ・菊川警察署

御前崎市消防本部・御前崎市消防署

御前崎市 御前崎マリクラブ 海上保安協会御前崎支部 御前崎市観光協会

<本部及び対応係り>

本部スピーチ担当 石原

本部 無線連絡担当 植田

カメラ撮影班 馬場

映像撮影班 市川

シーバード事務局 撮影 世古







<訓練>

第1部 ・ 漂流者救助訓練 1～3

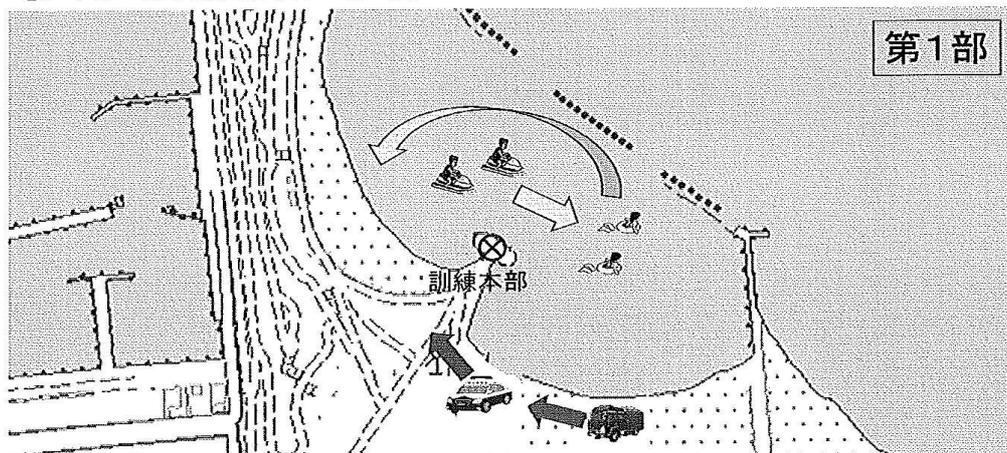
【第1部】◎漂流者救助訓練(その1) 訓練時間約10分を想定

【訓練準備】

漂流者役2名(渚の交番)配置

【訓練内容】

- ①パトカー及び消防救助隊がサイレンを吹鳴させ臨場する。
- ②御前崎渚の交番救難所は、水上バイク2艇で出動、漂流者2名を救助し、砂浜へ搬送する。
- ③パトカーは、付近警戒に当たる。



準備役PWC	野口 (漂流者運搬)		
PWC 1	D増田	R望月	
PWC 2	D小野田	R大西	
漂流者 1	奥柿		
漂流者 2	藪田		

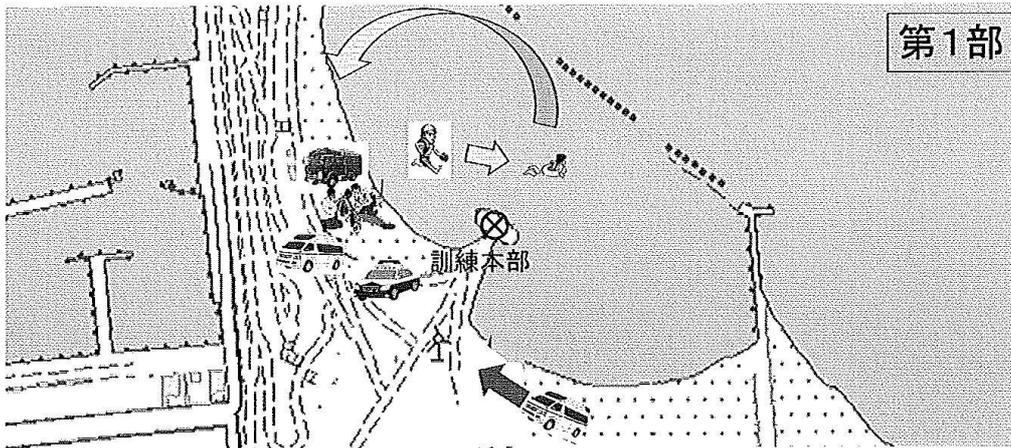
【第1部】◎漂流者救助訓練(その2) 訓練時間約15分を想定

【訓練準備】

漂流者役1名(渚の交番)配置

【訓練内容】

- ①救急車がサイレンを吹鳴させ、臨場する。
- ②御前崎渚の交番救難所所属のライフセーバーがレスキューボードで出動、漂流者1名を救助し、砂浜へ搬送する。
- ④漂流者が意識不明となり、消防救助隊及び救急隊に引き継ぐ。
- ③パトカーは付近警戒等に当たる。



準備役PWC 野口 (漂流者運搬)

レスキューSUP 金原

レスキューボード 増田

(パドルを拾い後ろからサポート)

ビーチ際 奥柿 松井 大西

意識なし漂流者 蓬台

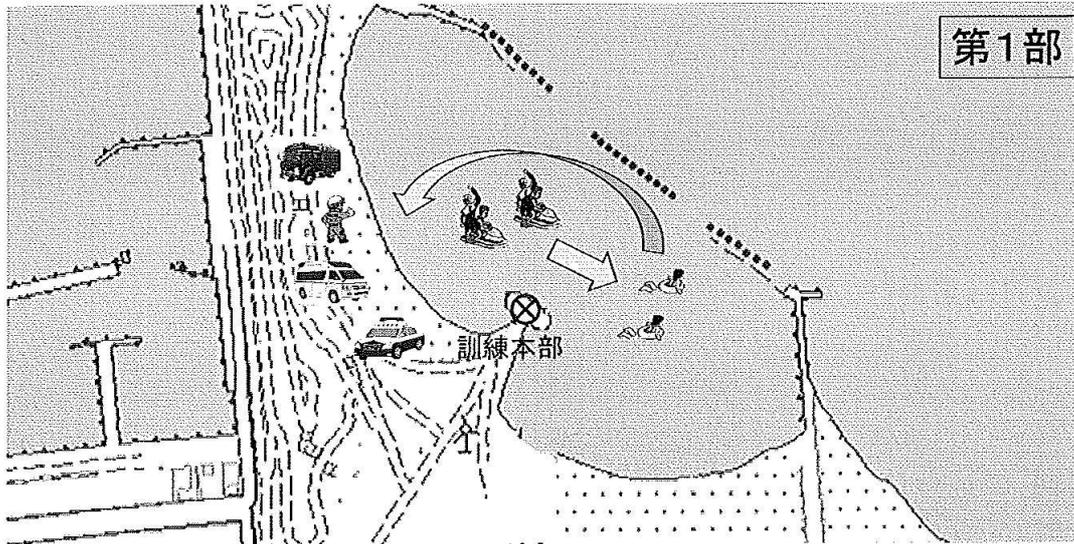
【第1部】◎漂流者救助訓練(その3) 訓練時間約10分を想定

【訓練準備】

漂流者役2名(渚の交番)配置

【訓練内容】

- ①消防救助隊が御前崎渚の交番救難所の水上バイクに同乗して出動し、漂流者2名を救助、砂浜へ搬送する。
- ②パトカーは付近警戒等に当たる。



準備役PWC 望月 (漂流者運搬)

PWC 1 D野口 R消防職員

PWC 2 D松井 R消防職員

漂流者 1 奥柿

漂流者 2 藪田

展示訓練 ・海上保安庁ヘリコプターによる防波堤孤立者吊り上げ救助訓練



実際に大きなヘリでのつり上げをまじかで見ることができました。

第2部訓練

ウインドサーファー1名が沖合いへ流され岸へもどれなくなり、救助を求めているとの119番通報があった。

中東遠消防司令センターから関係機関へ情報伝達を実施し、御前崎市消防署救助隊、菊川警察署パトカー及び御前崎海上保安署巡視船ふじが現場へ急行する。

御前崎海上保安署は、御前崎渚の交番救難所及び御前崎マリンクラブへ出動要請を実施する。

本部スピーチ担当 石原

無線連絡担当 植田

シーバード事務局 撮影 世古

カメラ撮影班 小野田 落合

映像撮影班 奥柿

海上チャレンジメイト撮影班 馬場 市川



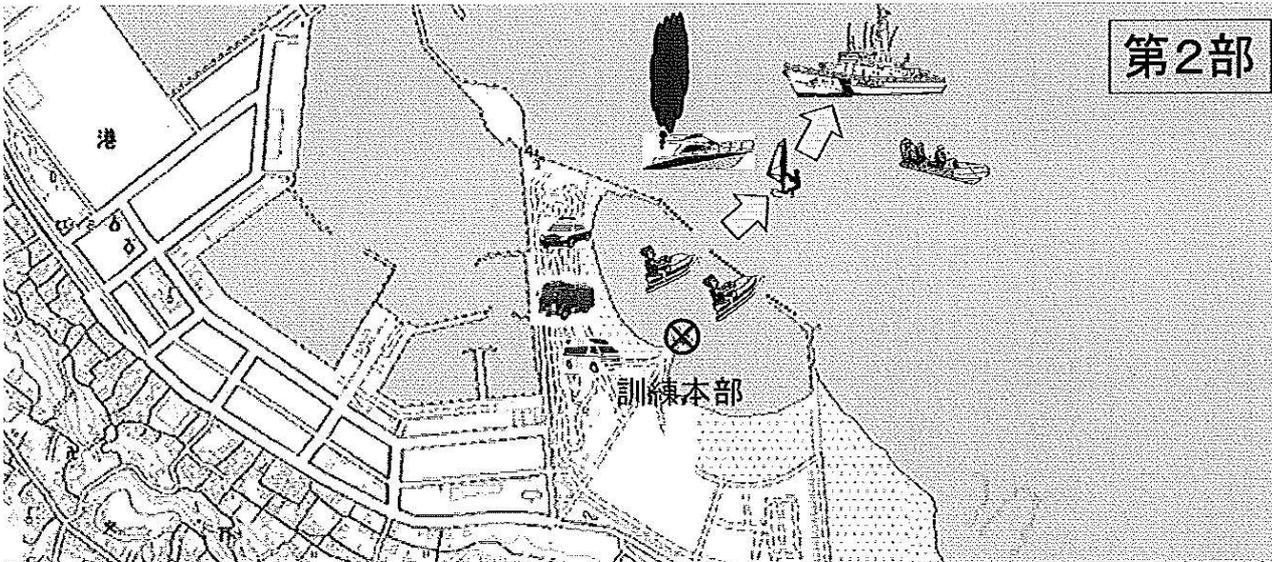
【第2部】◎漂流サーファー救助訓練(その1) 訓練時間約15分を想定

【訓練準備】

漂流サーファー役1名(渚の交番)配置

【訓練内容】

- ①御前崎マリクラブ安全パトロール艇が漂流サーファーを発見し、信号紅炎を点火するとともにマリンVHFにて巡視船ふじに通報する。
- ②御前崎渚の交番救難所の水上バイク2艇が出動、漂流サーファーを救助し、巡視船ふじに搬送する。ボード及びセールについても回収し、巡視船ふじへ引き継ぐ。
- ③パトカーは付近警戒等に当たる。



準備役PWC 松井・(漂流者運搬及び回収)

PWC 1 D望月 R増田 漂流者救助

PWC 2 D野口 R金原 道具運搬

漂流者ウインドサーファー 蓬台



【第2部】◎漂流サーファー救助訓練(その2) 訓練時間約15分を想定

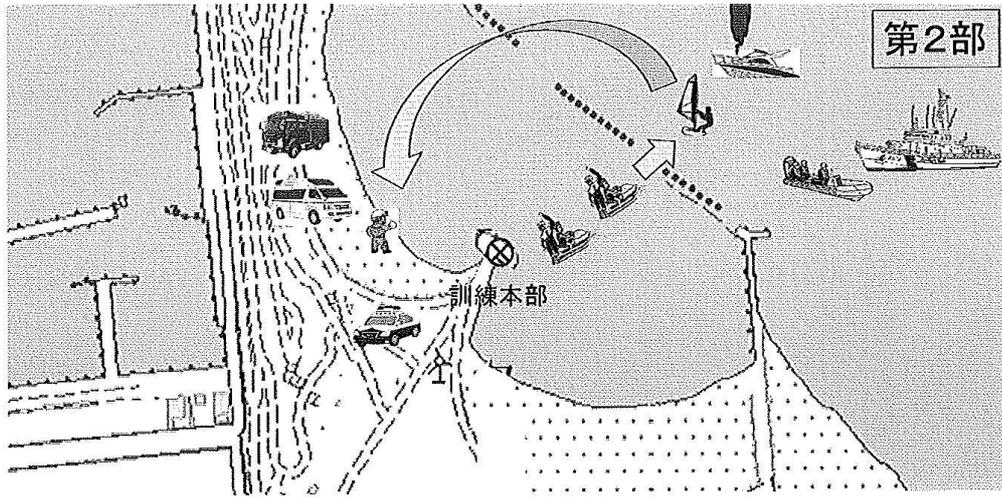
【訓練準備】

漂流サーファー役1名(渚の交番)配置

【訓練内容】

- ①御前崎マリクラブ安全パトロール艇が漂流サーファーを発見し、信号紅炎を点火するとともにマリンVHFにて、巡視船ふじに通報する。
- ②消防救助隊が御前崎渚の交番救難所の水上バイク2艇に同乗して出動、漂流サーファーを救助し、ボード及びセールについても回収のうえ、砂浜へ搬送する。
- ③パトカーは付近警戒等に当たる。





準備役PWC 望月・(漂流者運搬)

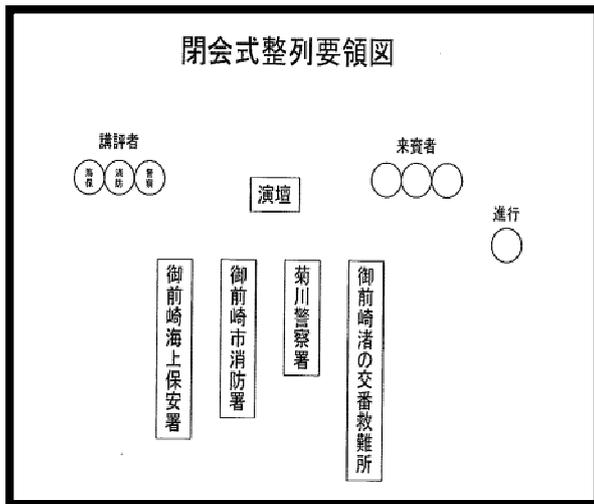
PWC 1 D野口 R消防職員

PWC 2 D松井 R消防職員

漂流者ウインドサーファー 大西



閉会式



- 1 閉会式開始
- 2 御前崎渚の交番救難所長挨拶
- 2 訓練講評
 - 菊川警察署長
 - 御前崎市消防署長
 - 御前崎海上保安署長
- 4 閉会式終了



本訓練に参加して頂いた関係者の皆様 視察に来ていただいた皆様、大変ありがとうございました。
 今年度はマリンパークで行い 御前崎 渚の交番救難所が主催という事もあり、実際にウインドサーフィンのレスキューを各機関と共に行えたこと、非常に良かったと思います。巡視船にウインドサーフィンの道具の受け渡しを行う事で、現場での苦勞を知りました。マリンスポーツの事故も多い地域ならではの訓練だったと思います。一昨年前より行った官民合同訓練が定例となり今後も続いていくと思います。事故を未然に防ぎ何事も起きないのが理想ですが、実際に沿岸では沢山の事故が起きているのが現実です。

有事の際には、御前崎エリアが官民合同で協力し合い、良い活動ができる事をめざし、今後も頑張っていきたいです。 今後ともご協力お願い致します。 御前崎 渚の交番救難所

